

2036年ビジョン「“はたらく”に喜びを」

リコーがOAを提唱した際、社内では「機械にできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事をすべきだ」と考えられていました。それは、人間にしかできない創造的な仕事を通して、生み出される付加価値を増幅することに、働く喜びがあるのだという考え方です。

業務の効率や生産性向上を超え、はたらく人の充足感や達成感、自己実現に目を向け、「はたらくを喜びに」変えるお手伝いをするのが、これまでお客様の“はたらく”に寄り添ってきたリコーの使命であると考えています。そのような想いを、2036年ビジョン「“はたらく”に喜びを」という言葉に込めました。

企業理念	<p>リコーウェイ > P01参照</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">創業の精神 「三愛精神」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">私たちの使命</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">私たちの 目指す姿</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">私たちの 価値観</div> </div>
価値提供の目的	<p>「“はたらく”に喜びを」</p> <p>喜びとは、仕事を通じて得られる充足感・達成感・自己実現。 リコーグループは喜びをはたらく人に感じていただけるお手伝いをする会社であり続けます。</p>
提供価値	<p>EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES</p> <p>人々の“はたらく”をよりスマートに。</p>
価値の届け方	<p>デジタルサービスの会社 > P27参照</p> <p>はたらく人の創造力を支え、 ワークプレイスを変えるサービスを提供します。</p>

■提供価値のあり方とデジタルサービス

リコーグループは、2017年、お客様へご提供する価値を“EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES”と決めました。これは「人と情報をつなぎ、人の伝える力、人の生み出す力を支えること」「すべての働く場所に、デジタルの力で、人や組織の個性を伸ばし活力を与えること」を目指す考え方です。

リコーグループのお客様は、ワークプレイス=働く場所であり、さらにはその場所にいる「はたらく人」も包含しています。デジタルの力を活用し、力を与え、そこから生まれるアウトプットの質や量を向上させていくことこそが、価値提供になります。

この考え方は、三愛精神に根差すリコーウェイや、ブランドメッセージ「imagine. change.」、2036年ビジョンとした「“はたらく”に喜びを」など、リコー

グループが事業に込め続けてきた思いに支えられています。

そして、価値提供を実現する手段として「デジタルサービスの会社」を目指します。これは、リコーグループが従来のOAメーカー的な行動パターンから脱却し、お客様に寄り添い、共に価値創造し、それをサービスとして提供していくという事業形態に変革することで、今後の生き残りを図ろうという決意の現れでもあります。

社会環境や市場、お客様の変化をとらえて先読みし、働く人の創造力を支え、ワークプレイスを変えるサービスを提供する会社となるために、リコーグループは価値の届け方を変革し続けていきます。